

理事長	施設長	事務長	特養 管理者	GH 計画 作成担当者	担 当

地域密着型サービス事業運営推進会議議事録

会議開催日:令和7年1月24日(金)

対象事業所:特養・GH 合同会議

社会福祉法人 宝寿会

令和6年度第5回地域密着型サービス事業運営推進会議（合同会議）議事録

1 開催日時 令和7年1月24日（金） 13時30分～15時00分

2 開催場所 特別養護老人ホームほうじゅの郷 会議室

3 出席者

○運営推進委員

川村和生（地域住民代表）

川村 明（地域民生委員）

三熊 （市民サービス課）

菊池まゆみ（石鳥谷地域包括支援センター職員）

山口新吉（ほうじゅの郷家族の代表）

○事務局（施設職員）

小原秀幸（施設長）

中村勇子（ほうじゅの郷管理者兼主任生活相談員）

岩谷大明（ほうじゅの郷生活指導員兼フロアリーダー）

菊池理恵子（はなみずき石鳥谷主任生活相談員兼計画作成担当者兼
介護職員）

小野寺邦枝（はなみずき石鳥谷主任介護職員）

4 欠席者 宮森寿人（はなみずき石鳥谷家族の代表）

5 協議内容

（1）各事業の進捗状況等について

（2）身体的拘束に関する事項について（身体的適正化委員会）

（3）事故等に関する事項について

（4）その他 情報交換等

6 会議の経過

13時30分、小原施設長は運営推進会議の出欠について、宮森寿人委員の欠席を報告し、ほかの委員の出席していることを確認して、開会を宣言する。

小原秀幸 本日はお忙しい中ご出席をいただき誠に有難うございます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

今回も事業の進捗状況や身体拘束、事故等の状況をご報告申し上げながら、委員の皆様からご意見等を頂戴したいと思っておりますし、会議の後半では「介護ロボット導入支援事業」で購入した介護ロボットやICT機器を紹介したいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

小原秀幸 次に、本日より新たに選任された運営推進会議の委員として、ほうじゅの郷の家族の代表者、山口新吉氏を紹介し、本人からのあいさつを促す。

山口新吉 母親がほうじゅの郷でお世話になっている山口でございます。宜しくお願いいたします。

小原秀幸 山口様のお母様は、はなみずき石鳥谷から入居され、その後ほうじゅの郷に移られた方で、宝寿会とは長く関わっておられる方でございます。日頃からお気付きの点もあると思いますので、忌憚のないご発言を宜しくお願いいたします。

小原秀幸 それでは協議事項に入ります。
はじめに各事業の進捗状況等について、はじめにはなみずき石鳥谷から説明をお願いします。

菊池理恵子 資料に基づいて詳細に説明をする。

小原秀幸 次にほうじゅの郷の進捗状況等について説明をお願いします。

中村勇子 資料に基づき、事業の進捗状況について説明をする。

小原秀幸 ただ今、それぞれの施設の進捗状況等について説明がありました。
要点としては、はなみずき石鳥谷は「外部評価の受審」があり、ほうじゅの郷では花巻市による運営指導と称する行政監査があったということで、多忙な年末を過ごされたというところでした。
委員の方からご発言をいただきたいと思います。

川村和生 はなみずき石鳥谷の外部評価の中で、防災に関する地域との関わりについてのご指摘があったようですが、実は地域でも「地域防災会」という組織があって、有事を想定して地域住民の安否確認の訓練をした経緯がありました。また、宝寿会や石鳥谷会とは、地域住民も交えた施設における総合的な避難訓練が実施され、毎年参加させていただくわけですが、本当に火災があった場合に、実際どのような行動をとればいいのか分からないと思うんですね。ですから、このような事の打合せや申し合わせなどについて話し合いができればいいのかなと考えています。

小原秀幸 有難うございます。いま区長さんが仰ったとおり、私どももそのように思っておりました。法人としても事業継続計画（BCP）というものが策定されていて、その中でも防災関連に関する地域との連携方法を具体的に決めておくことが定められております。いしどりや荘も同様でしょうから、施設間でも連携させていただき、あらためて区長さんを通じて、この内容を進めていきたいと思っております。貴重なご意見有難うございました。

小原秀幸 他に何かございませんか。
特に無いようですので次に進みます。
身体拘束に関する事項について、まずはほうじゅの郷から説明をお願いします。

中村勇子 資料に基づき、詳細に説明する。

【経鼻経管栄養の入居者に対する年末年始期間中のミトン装着】

小原秀幸 ほうじゅの郷の説明が終わりました。
はなみずき石鳥谷は、ございませんね。

菊池理恵子 はい、ありません。

小原秀幸 それでは、質疑等に入ります。何かございませんか。

菊池まゆみ この方は嚥下障害の方ですね。

中村勇子 そうです。痰吸引もしております。経鼻ですからね、気になるとどうしても手をかけてしまうのでしょうかね。

菊池まゆみ 職員さんが大変ですね。

中村勇子 ほうじゅの郷では、身体拘束は行わないとしておりますから、職員も意識を高く持って業務にあたっております。

小原秀幸 その他、何かございませんか。
無いようですので、次に移ります。
事故等について、はなみずき石鳥谷から報告願います。

菊池理恵子 資料に基づき詳細に説明をする。

小原秀幸 次にほうじゅの郷から説明して下さい。

中村勇子 資料に基づき詳細に説明をする。

小原秀幸 只今の説明についてご質問等はございませんか。
特に無いようですが、宜しいですか。
無いようですので、次のその他、情報交換等に移ります。
ほうじゅの郷から議題があるようですので、お願いします。

中村勇子 資料に基づいて、詳細に説明をする。

- ①介護機器・A I 導入
- ②透析患者の受入れの課題
- ③看取りについて
- ④入所申込みについて

小原秀幸 有難うございました。
現状の課題も含めた内容となっておりますが、何かご質問等はございませんか。

透析者の対応については、県としても大きな課題として捉えていて、例えば、この場所ですと近くの宝陽病院が透析しておりますので、宝寿会の事業所はある意味期待されているところもございます。私どもとしても、透析者の受け入れについて積極的に検討する必要があると認識しておりますので、病院側と協議しながらすすめていきたいと思っております。

看取りについても特に宝陽病院側と調整をしながら、入居者や家族のために対応が可能となるよう努力して参ります。

地域の感染症の状況はどうですか。

川村和生 インフルエンザとかコロナはあるようですが、中部地区は他の地区と比べて落ち着いてきているようですね。

菊池まゆみ 中部病院から感染症の状況による診察等の規制に関する情報等が、包括に入ったりしますけど、この辺は落ち着いてきているようです。むしろ今は奥州地区が増えているようですよ。

この他の情報として「だより」をご覧いただければと思います。

小原秀幸 家族さんから何かございませんか。

山口新吉 感染症は大変ですね。うちでも家族感染してしまったことがありましたので。施設で感染症が流行った場合に、感染していないうちに家族に戻されて、それから家族で感染したんですよね。仕方のないことですから何とも言えないのですが、その帰るか帰さないかの判断も難しいものですね。

小原秀幸 その通りなんです。一応は家族様に状況を説明した上で施設側の見解も含めて相談させていただいて決めています。命に関わることになったりすると、非常に難しく思い判断だといつも思っています。

有難うございました。

その他に何かございませんか。

特にないようですので、協議等については以上とします。

小原秀幸 次に、話題にもなりました補助金で購入させていただきました介護ロボットや機器を持ってきておりますので、委員の皆様に説明させていただき、出来れば体験もしていただければと思っておりますので、ご準備願います。

ほうじゅの郷で購入した、移動用リフト、インカムシステム、介護ソフトウェアのタブレットを説明し、体験・実演を行う。

小原秀幸 有難うございました。
介護ロボット等の活用後の評価等についても、報告できるようにしていきますので、またご意見を頂戴したいと思います。
その他に何もなければ、以上をもちまして第5回地域密着型サービス事業運営推進会議を終了いたします。本日は誠に有難うございました。

閉会 15時00分

議事録作成者

社会福祉法人宝寿会事務局

特別養護老人ホームほうじゅの郷

施設長 小原秀幸

⑩

【はなみずき石鳥谷】

1 事業の進捗状況

【入居者について】

現在9名満床

待機者は13名。今月中に申込者の意向を確認していく。

【人事について】

12月31日 職員1名退職している。 その他2名退職予定

【行事について】

- ・12月 クリスマス会(ケーキ作り) ・デイサービス慰問に参加し踊り鑑賞
- ・1月11日 はなみずき石鳥谷創立記念日お祝い
- ・1月14日 水木団子作り
- ・1月21日 お誕生日会
- ・2月3日 節分豆まき
- ・2月中旬 バレンタインカフェ

【地域密着型サービス外部評価の実施結果】

(外部評価とは) 認知症対応型共同生活介護の指定を受けている事業所は「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」等により、自ら提供するサービスの質の評価(自己評価)を実施すると共に、定期的に外部の物による評価(外部評価)を受け、それらの結果等を公表する事が義務づけられている。

・実施日時 12月18日 10:00~15:00

いわての保健福祉支援研究所より2名の調査員来荘。

・聞き取り内容としては、理念に基づく運営ができているか、安心と信頼に向けた関係作りや支援ができているか、その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメントができているか・・・など、55項目の自己評価に沿って、聞き取りが行われた。

・昼食も召し上がり「おいしい」と話されていた。

・入居者のご家族様から回答していただいたアンケート結果は「おおむね満足しているとのことで良い評価を頂きました。

(アンケートはご家族様の回答後、直接いわての保健福祉支援研究所へ送付する仕組みになっており、調査員よりアンケート結果を説明していただいた)

・良い評価をいただくことができましたが、

- ① 運営推進会議の委員について、利用者代表の参加も検討するなど、同会議が利用者本人の意見を聞く場となる事を期待します。

② 運営推進会議を活用し、地域の防災体制について確認し、更に防災協力隊の組織化に向けた取り組みの検討を進められることを期待します。

と助言を頂きました。今後検討していきたいと思っておりますし、良い評価に甘んじる事無く、今後も入居者に寄り添い、職員間で情報共有しながらより良い支援に努めていきたいと思っております。

2 身体拘束に関する事項について(身体的拘束適正化委員会)

- (1) 現在身体拘束該当者 なし
検討されるような事例もありません。

3 事故等に関する事項について

●事故…2件 ヒヤリハット…1件

転倒 2件
・トイレでの転倒 トイレ使用后、移動しようとした際に転倒される。 出来るだけ側での見守りを行い、その場を離れない様にする
・居室内での転倒 フットセンサーマット使用されているがセンサー反応後、訪室時にはセンサーマットの上に座った状態であった。靴を履こうとされていた様子だったので靴の置き場所を履きやすい場所にする 介護員室に近い居室への変更を検討するが難しい為、こまめに見守りを行う
ヒヤリハット 1件
・トイレ使用后、めまいがしたと座り込む 家に居た頃から、こうゆう事があったと話されており、トイレに行った際には、様子観察を行い、こまめに声掛けを行う

令和6年度第5回地域密着型サービス事業運営推進会議

特別養護老人ホームほうじゅの郷

令和7年1月24日

1 ほうじゅの郷進捗状況

(1) 【入居者状況】

【1月現在入居者数】

入居者数	入院者	花巻市待機者
29名	0名	約37名

【介護度別と平均介護度】

要介護3	8名
要介護4	10名
要介護5	11名
平均介護度	4.1

【令和6年4月～12月迄の入退居状況】

年月	新規入居者	退居者	入居合計
R6年 4月	1名	0名	29名(満)
5月	0名	0名	29名(満)
6月	0名	1名	28名
7月	1名	0名	29名(満)
8月	0名	1名	28名
9月	1名	2名	28名
10月	2名	1名	29名(満)
11月	0名	0名	29名(満)
12月	1名	1名	29名(満)

【入居前状況・終了理由】

入居前	終了理由
在宅・ショート利用	長期の入院の為
グループホーム	入院中の死亡
医療機関	

【入居者様マイナンバーカード作成】

12月までに28名の方がマイナンバーカード作成済。

1名の方(12月入居)3名以上でなければ出張申請出来ない又は本人直接窓口での申請の為保留。(家族からの同意あり)

顔認証とし暗証番号なし(一部入居前に作成していた方は暗証番号有)

医療保険証とは現在紐づけなし(R7年8月より本人確認書発行)

(2) 【介護職員状況について】

- 医療的ケア研修 R6/9/24～R7/1/15 の期間
・口腔内吸引・鼻腔内吸引・胃瘻経管栄養に関しての医療的行為の研修終了となる。介護職員3名(1名胃瘻不可)
- 介護職種の技能実習指導員講習(技能実習制度を理解する) 1名受講
- 介護職員1名 12月31日付退職

(3) 【コロナ・インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎感染状況】

R6年12月	マイコプラズマ肺炎とインフルエンザ同時感染 介護職員 1名
	コロナ感染 入居者様 2名
R7年1月	インフルエンザとコロナ感染 介護職員 1名
R7年1月	コロナ感染 介護職員 1名

※現在は収束に向い増えてはいない状況です。

(4) 【令和6年度介護保険施設等の運営指導の実施結果】

- 介護報酬の算定に関しては指摘なし
- 日課計画表とその他のサービスの記入の事(別表3)
- 短期目標、長期目標の日付同月の為修正
- 介護保険証の終了日記入の事
- 調理員の人数の訂正(6人→5人以上)
- 事故が発生した後の対策、改善策が全員周知の確認の記録の整備
- ハラスメントの規制全般的な対応の内容に修正する事(利用者、家族等)
- 感染症及び食中毒の予防まん延の防止の為の対策の委員会3月/1回以上開催し、その結果について職員に周知徹底
- 虐待の防止についても同様、委員会の結果について職員に周知徹底の記録の整備

2 身体拘束に関する事項について(身体的拘束適正化委員会)

【臨時】身体的拘束適正化委員会・サービス担当者会議開催

令和 6 年 12 月 6 日(金)開催

【協議内容】H 様の年未年始の身体拘束(ミトン装着)について協議する。

医師から年未年始のチューブ抜去対応が難しい為。

令和 7 年 1 月 6 日(月) 開催

【協議内容】H 様の身体拘束についての報告と今後の検討

委員会開催により 12/29~1/4 まで夜間時のみのミトン装着についての経過報告。

計画通りの夜間のみミトン装着とし日中は見守り、訪室する。

今後は昼夜共ミトンは外し様子観察とする。

※1 月 18 日(土)自己抜去あり囑託医にてチューブ挿入。(花巻市へ報告)

胃瘻を家族は望まれているが囑託医より高齢でもあり要検討。

3 事故等に関する事項について

令和 7 年 1 月 21 日(火) 事故防止対策委員会開催予定でしたが他事業所
コロナ感染拡大となり書面にて配布、意見を求める事とする。

【R6/12~R7/1 事故報告件数 3 件 ヒヤリハット 2 件】

事故種類	件数	報告内容	対応
外傷	1 件	入浴後に指の爪切りをし傷をつけた	指の爪の状態にもる為看護師又は奥まで爪切りが入らないよう注意する
転倒	2 件	① ベット柵の足元からずり落ち床に右側仰臥位で横になっていた ② ベットと歩行器の間に座っていた	① 低床ベット・ジョイントマット敷き様子観察とする 日中はリビングで過ごし見守りとする ② ご本人の意志があり規制はなく声かけにて安全を見守る。
ヒヤリ・ハット	2 件	服薬セットミス	未然に防げたが、服薬ボックスに敷いているカードを替えての対応とする

4 その他、情報交換

□介護機器・AI 導入

昨年末に介護機器、AI 導入し、1 月より移動リフト・インカム・移動しながらの記録等により介護負担軽減、安全性、効率性等に向け取り組んでいる。

□透析患者様の受け入れの課題

週 3 回の送迎・透析時間(送迎時間含み約 4 時間)・場合によっては職員付き添いの事もあるの課題に医療と協議し受け入れの検討に向けたい。

岩手県内透析者受け入れ施設数 : 特養→23 施設 地域密着型特養→12 施設

□看取りについて

現在も看取り契約出来ていないが、嘱託医より『治療はない、看取りの段階』と言われ入院とならないケースあり。しかしながら施設としては、最後をここで終えるという事になれば、看取り契約を締結して頂く事が望ましいが進展していない状況。

□入所申し込みについて

入所申し込みに関わり問い合わせするも連絡ないままご逝去、他施設入所等になっており現在は 37 名程に減っている。